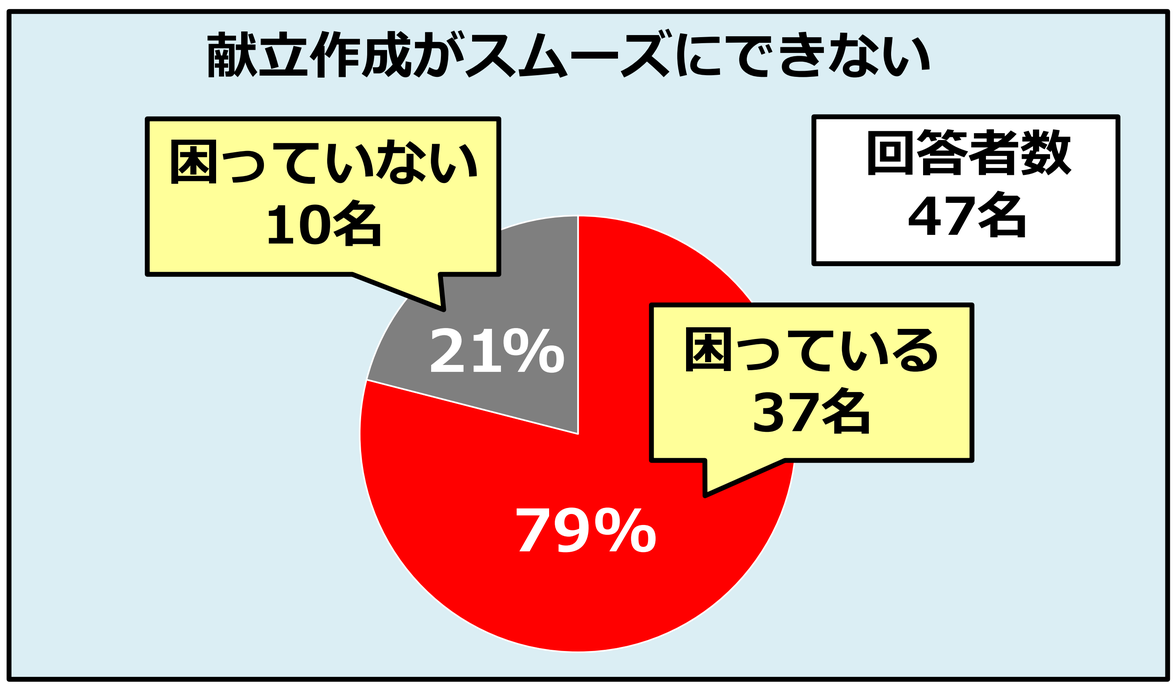
神奈川大学工学部経営システム工学研究室

栄養士を支援！給食の献立を自動作成できる最適化・AI技術

1. 背景　Background

■ 栄養士の悩み

鎌田ら(人間生活文化研究，2019)の調査によると，
約80%の栄養士が**献立作成に困っている**と回答



■ 給食の献立作成現場

【考慮すべき項目】
- **栄養摂取量**
- **予算**
- **料理・食材の提供頻度**
- **彩り**
- ⋮

…

1か月分の献立作成では，考慮すべき項目が多い
そのため，多くの**時間**と**手間**が発生

➡ **献立作成**を**支援**する**システム**が必要

しかし，従来のシステムでは…

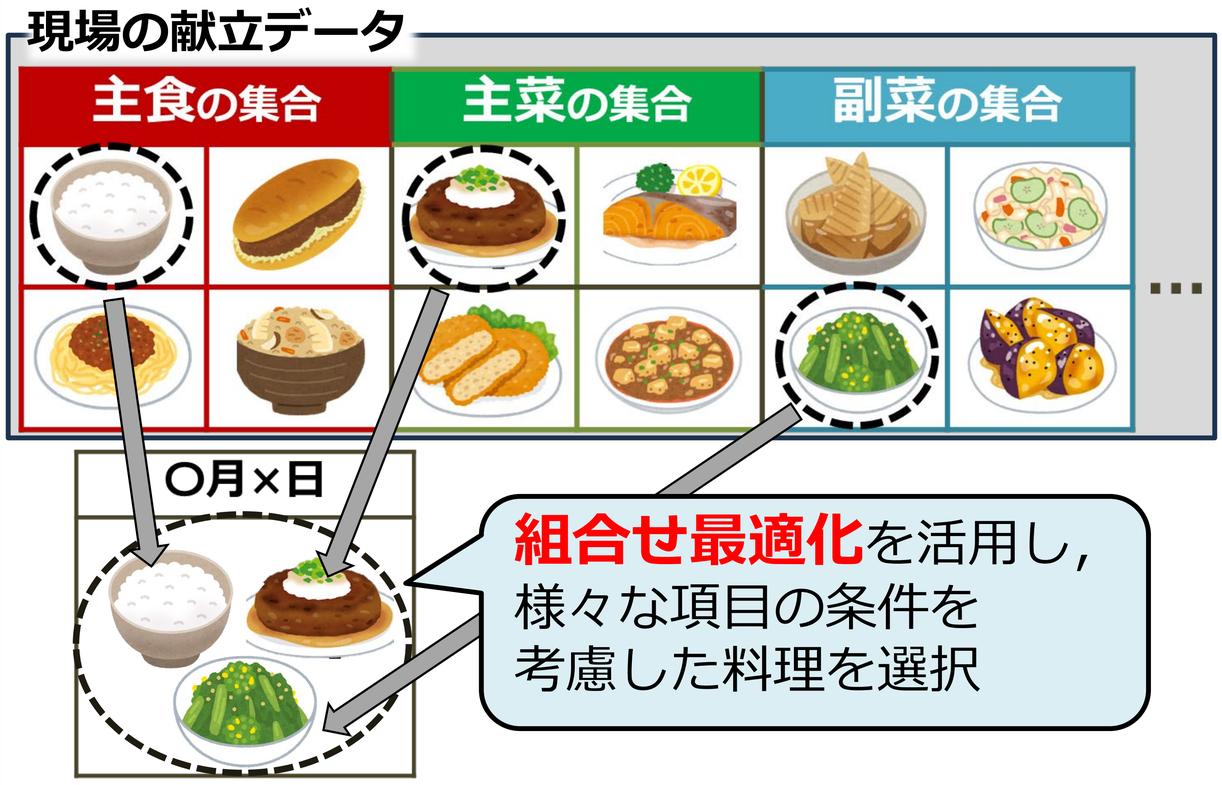
- **入力作業**(例：栄養摂取量)に**手間**がかかる
- **栄養士の願望**で入力してしまい，**献立**が**出力されない**可能性が高い

2. 利点　Advantage

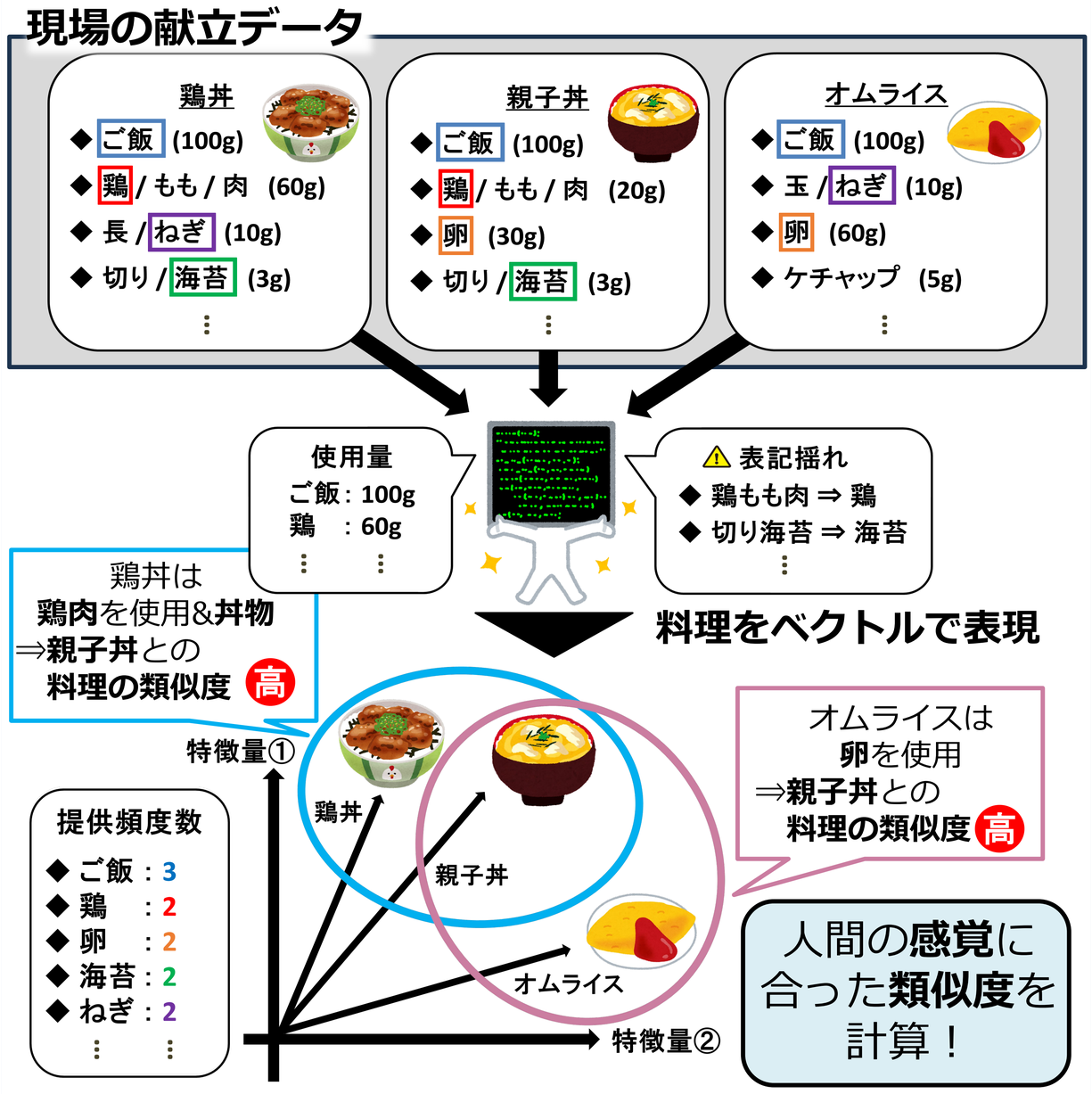
本技術により，**現場の実情に合わせた献立**を**高速**に作成できる

3. 技術　Solution

■ 最適化技術による給食の自動献立作成



■ 言語処理AIによる料理の類似度計算



4. 用途　Application

① **献立作成業務**の**効率化**

② **栄養士**の**負担軽減**

Contact：神奈川大学　研究支援部　産官学連携推進課
E-mail:sankangaku-web@kanagawa-u.ac.jp　TEL:045-481-5661（代表）